

# 研究のあしあと 5

令和5年度 久美浜小学校研究推進部

令和5年11月

11月10日（金）に行われた全国・近畿地区小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会に参加し、公開授業を見たり小学校ごとの指導・講評を聞かせていただいたりしました。公開授業の1本目は、1年の生活科「あきといっしょに」（今回淀先生にお世話になった授業の単元と同じところ）、2本目は、3年生の総合的な学習の時間「わがまち待鳳えとこやでおいで」を参観しました。見てきた中での授業の流れ等を報告し、授業実践の参考にしていただけたらと思います。

## 1年生生活科「あきといっしょに」

1年生の授業は「あきといっしょに」で、見つけた秋の自然物に触れる活動を通して、秋の自然物を生かして工夫して遊び道具を作ったり実際に遊んだりする活動でした。

まず、担任の先生が最初に「学習の流れ」を示されました。（①めあて⇒②あそびをかんがえる⇒③かんがえたあそびをつたえあう⇒④まとめ）その後は、子ども達が「秋の宝箱」を机の上に広げ、教室の真ん中に置かれている材料や道具をたっぷり使って遊びを考えていました。その時の環境整備にいろいろな工夫が見られました。

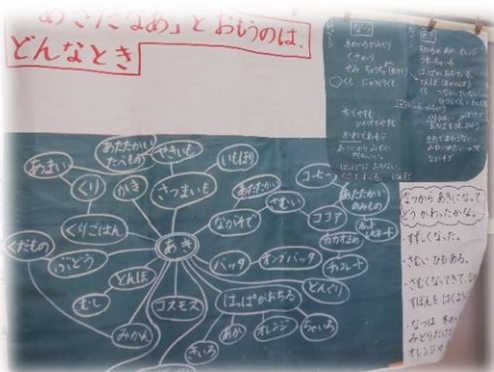
真ん中に置かれた配膳台の上には、秋の木の実もたくさんありましたが、その両脇に「卵パック」「トイレットペーパーなどの芯」「食品トレイ」がたっくさん。どれだけ使っても余るぐらいあったところから察すると、保育所のように、日常的にずっと持ってくるシステムになっていたのかなと想像できました。その他にも竹ひごや毛糸、つまようじなども自由にとれるように用意されていた

した。また、考えにくい児童

も何か作れるようにロッカーの上に遊び作りの参考になる本が点々と置かれていました。（が、これは本時では誰一人触ることなく終わっていき・・・）でも、こうやって「いつでも手にとれる」ものが「たくさん」というのが児童の発想を邪魔しないのだなと思いました。そして、自分の実践を振り返り、「たくさん制限していたな・・・」と反省するばかりでした。

この時間での遊びの完成は目指さず、できたところまでの交流がその後行われました。児童ができた遊びを発表すると、先生が「ウェビングマップ」でまとめられ、ここにも単元を通して一貫性を持って整理されてきた工夫が見られました。教室の周りを見ると、これまでに「あきだなと思う時」など、授業の展開のでウェビングマップを使って整理されたものがたくさんあったのです。

本時では木の実の絵からできたおもちゃや遊びをまとめられていき、「木の実の大きさによる音の違い」についても少し突っ込んで切り返しをされていました。ただ、他の児童が発表



している時、聞く側の児童は手元に作りかけのおもちゃが気になって仕方ない様子でした。そして、最後に「本時の気づきや分かったことをワークシートに書く時間」という流れでした。

最後の児童の様子を見られ、一緒に見ておられた大久保先生から貴重な助言をいただきました。

大久保先生  
のつぶやき

最後の一齐のまとめは本当に必要だったのかな。自分の作りかけのおもちゃのことばかり気にしているよ。ワークシートも作業している時に書きたい子もいるし、全て終わった後に書きたい子もいる。そういった「書くタイミング」も選択できるようにすればいいのに・・・。

これまでは、「最後はやっぱりまとめなきゃ！」と旧型の考えでいましたが、実際に子ども達の活動したくて仕方ない様子を目にすると、最後にまとめない方法も有効な時があるなと感じました。

### 3年生総合的な学習の時間「わがまち待鳳 ええとこやでおいで」



次は、3年生の総合的な学習の時間です。本校と同じような「町のすてき」のような単元でした。本時では、収集してきた情報を比較したり分類したりすることで、地域の魅力について考えるという内容でした。

ここでも、先生が初めに「授業の流れ」を説明されてから始めてにうつられました。これまで見学に行った先は7か所で、1組2組の学年合同で見学されたようでした。見学先も「商店街」「大徳寺納豆」「大徳寺」「今宮神社」「あぶり餅」「西陣織」「農家」

と、「人・もの・こと」が入り混じった7か所で繰り広げられていました。

授業では、各々の場所をAとBに分けて、初めはAの人が他の素敵ポイントの人のところに行って、素敵などころを教えてもらう⇒時間になったらAとBが交代という流れでした。

聞く人は、素敵だなと思ったら、「人・もの・こと」の3つの観点に分かれたYチャートにシールを貼っていきます。シールの数だけ素敵などころを見付けられたということになります。おそらくこの学習でも、単元を通してYチャートを用い分類されてきたのかなということが、掲示物から予想できました。その分子ども達も慣れた様子でした。

比較する時にYチャートはふさわしくないかな。Yチャートは分類するものだよ。

また、タブレットを使って説明する画像などや言う言葉を書いたワークシートなどの前時までの準備物はすごいものでした。そして、最後は素敵ポイントを比べて何ができてきたかを班で話し合い、一齐で発表して授業をまとめるという展開でした。

この授業では活動させる内容で「思考ツール」の使い分けもできるように指導者が思考ツールをよく理解する必要があることを学びました。

